

宮津地区拠点施設整備事業（道の駅）



令和6年12月
上天草市

1. これまでの取組みの経緯

■ 令和2年度

持続可能なまちづくりのイメージを市民と共有しながら、まちづくりを推進していく将来ビジョンとして宮津地区将来構想を策定した。

■ 令和3年度

関係課からなる庁内作業部会において、「上天草物産館さんぱーる（道の駅）を核とした宮津地区のまちづくり」を、拠点となる施設の整備方針と定めた。

■ 令和4年度

宮津地区将来構想に関するサウンディング型市場調査を実施し、民間事業者と宮津地区の持続可能なまちづくりの可能性について、対話を行った。

■ 令和5年度

宮津地区における観光の目的地としての魅力を高めていくとともに、市民の交流を促し、宮津地区のまちづくりの核となる宮津地区拠点施設（道の駅）の整備に向けた宮津地区拠点施設整備基本計画を策定した。

2. 整備計画地



所在地	上天草市大矢野町中11582番地24 他
敷地面積	約39,500㎡
区域区分	都市計画区域外
主な施設	上天草物産館さんぱーる、大矢野老人福祉センター、宮津海遊公園 等

3. 施設概要①

施設名	上天草物産館 さんぱーる	大矢野老人福祉 センター	宮津海遊公園	天草四郎観光協会
敷地面積	24,747㎡	4,337㎡	8,837㎡	661㎡
建物面積	1,505㎡	1,222㎡	－	66㎡
主な建物の 建築年	平成12年度	昭和58年度	－	平成18年度
施設機能	【本館】 ・ 直売所 ・ レストラン ・ トイレ 【新館】 ・ 鮮魚販売所 ・ 花き販売所	・ 大集会室 ・ 浴室 ・ 会議室 ・ 和室 ・ 栄養指導室	・ トイレ ・ シャワー、更衣室	・ 事務所 ・ 観光案内所
利用者数 (R4)	464,313人	12,841人	－	－

3. 施設概要②

上天草物産館さんぱーる①



上天草物産館さんぱーる②



上天草物産館さんぱーる③



上天草物産館さんぱーる④



上天草物産館さんぱーる⑤



天草四郎観光協会



3. 施設概要③

宮津海遊公園①



宮津海遊公園②



宮津海遊公園③



大矢野老人福祉センター①



大矢野老人福祉センター②



全景



4. 周辺施設の概要

- 宮津地区には、上天草物産館さんばーるの他に、スパ・タラソ天草、天草四郎ミュージアムなどの施設が立地し、昨年10月には、本と歴史の交流館イコットがオープンしたことで、市民、観光客等、様々な利用者が集うエリアとなっています。

＜周辺施設の配置状況＞



＜周辺の主な施設の概要＞

施設名	スパ・タラソ天草	本と歴史の交流館イコット	天草四郎ミュージアム	大矢野総合スポーツ公園
施設内容	浴室、プール、レストラン	図書館、歴史資料館、会議室	資料館	体育館、グラウンド
利用者数(R4)	160,456人	－	22,573人	54,694人

5. 宮津地区拠点施設整備基本計画 ～整備の方向性・施設コンセプト～

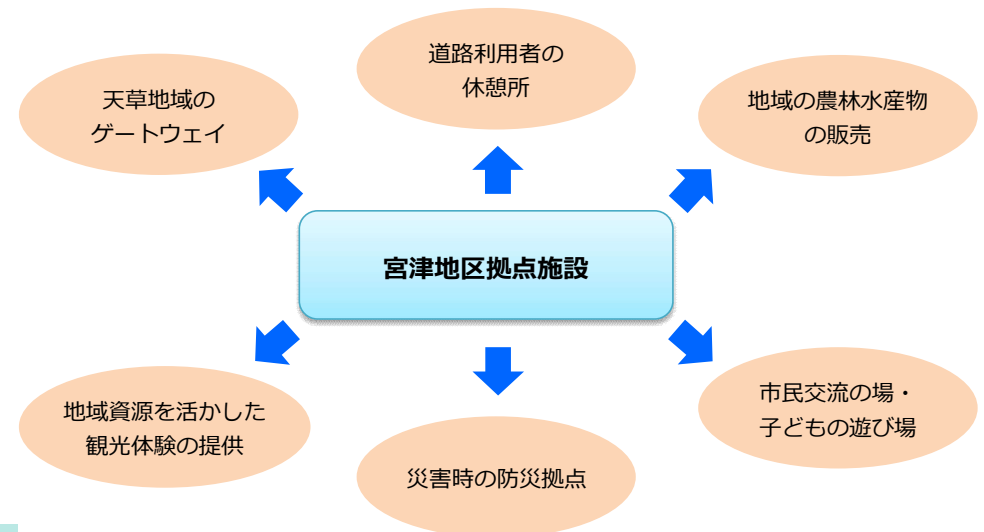
■整備の方向性

- 方向性 1 若い世代や子育て世代のニーズを満たす機能の導入
- 方向性 2 周辺施設利用者のニーズを満たした機能の導入
- 方向性 3 観光協会等と連携した情報発信機能の強化
- 方向性 4 立地を活かした施設整備や地域資源を活かした機能の強化
- 方向性 5 防災機能の充実

■施設コンセプト

多世代の市民、来訪者が集い、交流し
天草地域の魅力を発信するシーサイドゲートウェイ

＜拠点施設が担う役割＞



5. 宮津地区拠点施設整備基本計画 ～導入機能①～

休憩機能

道路利用者の安全で快適な道路交通環境の提供のために、24 時間無料で利用できる駐車場、トイレを整備します。24 時間利用可能なトイレは、子育て世代が立寄りやすくするための子ども用トイレやベビーコーナー等を設置するとともに、ユニバーサルデザインに配慮した多機能・多目的トイレを設置します。



▲子ども用トイレ・ベビーコーナー

情報発信機能

渋滞・規制等の道路交通情報、気象情報、天草地域の観光情報等を提供する情報発信コーナーを整備します。また、天草四郎観光協会の事務所を拠点施設内への移転を検討することで、ゲートウェイ機能の強化を図っていきます。



▲情報発信コーナー

地域連携機能（物販機能・飲食機能）

地元の様々な農林水産物や加工品等の販売を行うために、利用者にとって買い物しやすい直売所・物産販売所を整備します。また、若い世代や子育て世代から年配の方まで、幅広い市民が利用しやすい飲食施設や海沿いの立地を活かして、食事や休憩に使用可能な海を一望できるテラス席等の整備を検討します。



▲直売所・物産販売所



▲展望テラス

5. 宮津地区拠点施設整備基本計画 ～導入機能②～

地域連携機能（交流・体験機能）

交流・体験機能として、大矢野老人福祉センターの機能を引き継ぎ、多世代の市民がレクリエーションや趣味・サークル、屋内のイベント等で活用できる会議室や多目的スペースを整備するとともに、市民が気軽に交流できるテラススペース等の整備を検討します。また、多世代から利用される施設に向けて、市民からのニーズが高い屋内型キッズパークを整備します。その他に、日常的にはグランドゴルフ等のレクリエーションに使用し、天草パールラインマラソン等の開催時にはイベントで利用できる広場の整備を行います。



▲可動式の間仕切りがある



▲大型複合遊具が設置されたキッズルーム



▲テラススペース



▲交流広場

防災機能

宮津地区の防災力の向上として、周辺住民や道路利用者の一時的な避難場所として、飲料水・食料等の備蓄や災害時の施設稼働のための非常用設備等の設備を広域的観点で踏まえ整備します。

また、拠点施設は、天草地域の玄関口に立地しており、周辺地域で大規模災害等が発生した場合の広域的な復旧・復興活動拠点としても活用していきます。



▲かまどベンチ



▲防災用コンテナ型トイレ

5. 宮津地区拠点施設整備基本計画 ～想定する施設規模～

機能・施設			面積
休憩機能		駐車場、トイレ、その他	930 m ²
情報発信機能		情報発信コーナー	230 m ²
		観光案内所	
地域連携機能	物販機能	直売所・物産販売所、加工施設	1,438 m ²
	飲食機能	飲食施設（レストラン・カフェ等）	1,708 m ²
	交流・体験機能	会議室・多目的スペース	720 m ²
		屋内型キッズパーク	490 m ²
		観光体験施設 （情報発信機能と一体的に整備）	
その他機能	防災機能	備蓄倉庫、非常用発電設備 等	514 m ²

5. 宮津地区拠点施設整備基本計画 ～拠点施設の配置案～

■ 配置の考え方

- 現在の宮津海遊公園の敷地も含めた施設として、海沿いの立地を活かす。
- テラスデッキで建物間を結び、利用者があまり車道を意識せずに移動でき、施設の一体的な利用を可能とする。
- テラスデッキと連絡橋を繋げ、天草四郎ミュージアム、本と歴史の交流館イコットへの回遊性をあげる。
- 宮津海遊公園に飲食施設を整備し、海を見ながら飲食できるなど海とのつながりを作る。

＜拠点施設の配置案＞



5. 宮津地区拠点施設整備基本計画 ～事業手法～

	DBO方式	PFI方式
概要	公共が資金調達を行い、設計、建設、維持管理・運営を一括して民間事業者へ発注する。直売所・物産販売所等の運営に関しては、第三セクター（上天草さんぱーる(株)）と事業連携して、運営する。	民間の資金、ノウハウ等を活用して、設計、建設、維持管理・運営を一括して民間事業者に発注する。直売所・物産販売所等の運営に関しては、第三セクター（上天草さんぱーる(株)）と事業連携して、運営する。
スキームイメージ	上天草市は、設計企業、建設企業、維持管理・運営企業（指定管理者）とそれぞれ委託契約、基本契約、工事請負契約を締結し、指定を行います。設計企業は設計、建設企業は建設、維持管理・運営企業は維持管理・運営を担当し、最終的に（仮称）宮津地区拠点施設に提供されます。維持管理・運営企業は第三セクター（上天草さんぱーる(株)）と事業連携を行います。	上天草市は、SPC（特別目的会社）と事業契約・指定を締結し、指定管理者として指定を行います。SPCは、設計企業、建設企業、維持管理・運営企業とそれぞれ委託契約を締結し、設計、建設、維持管理・運営を担当し、最終的に（仮称）宮津地区拠点施設に提供されます。維持管理・運営企業は第三セクター（上天草さんぱーる(株)）と事業連携を行います。

5. 宮津地区拠点施設整備基本計画 ～ロードマップ～

